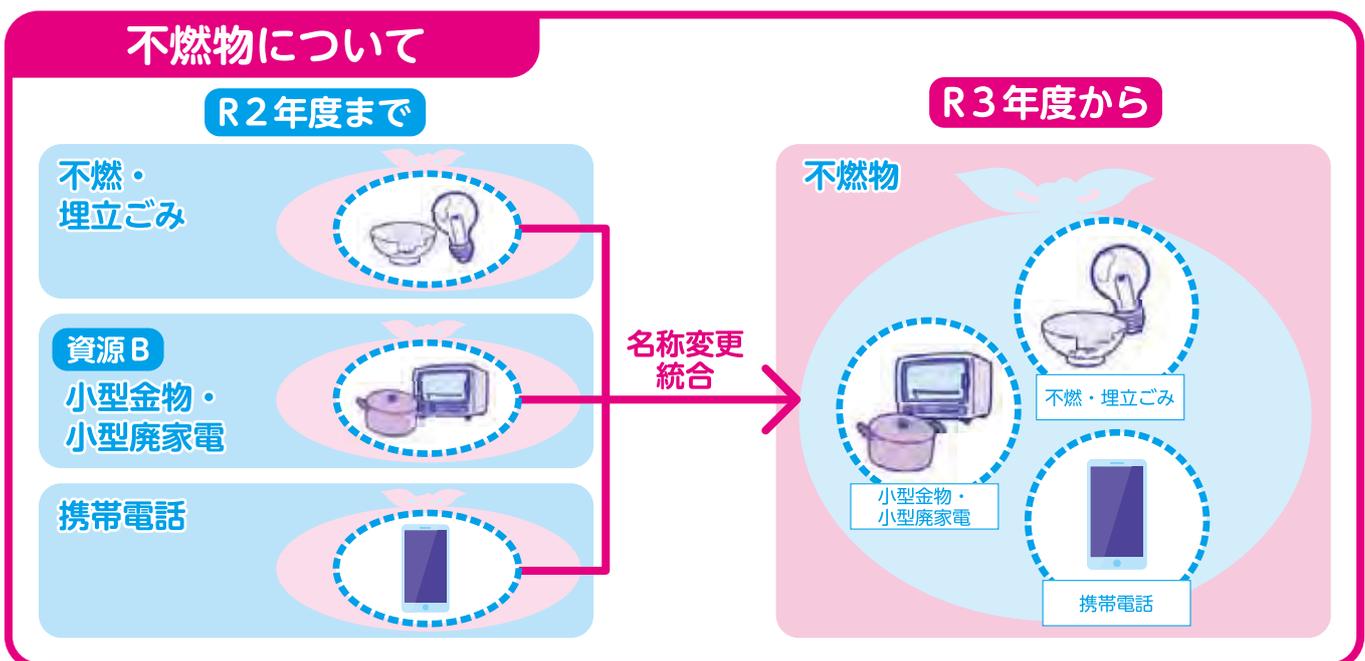
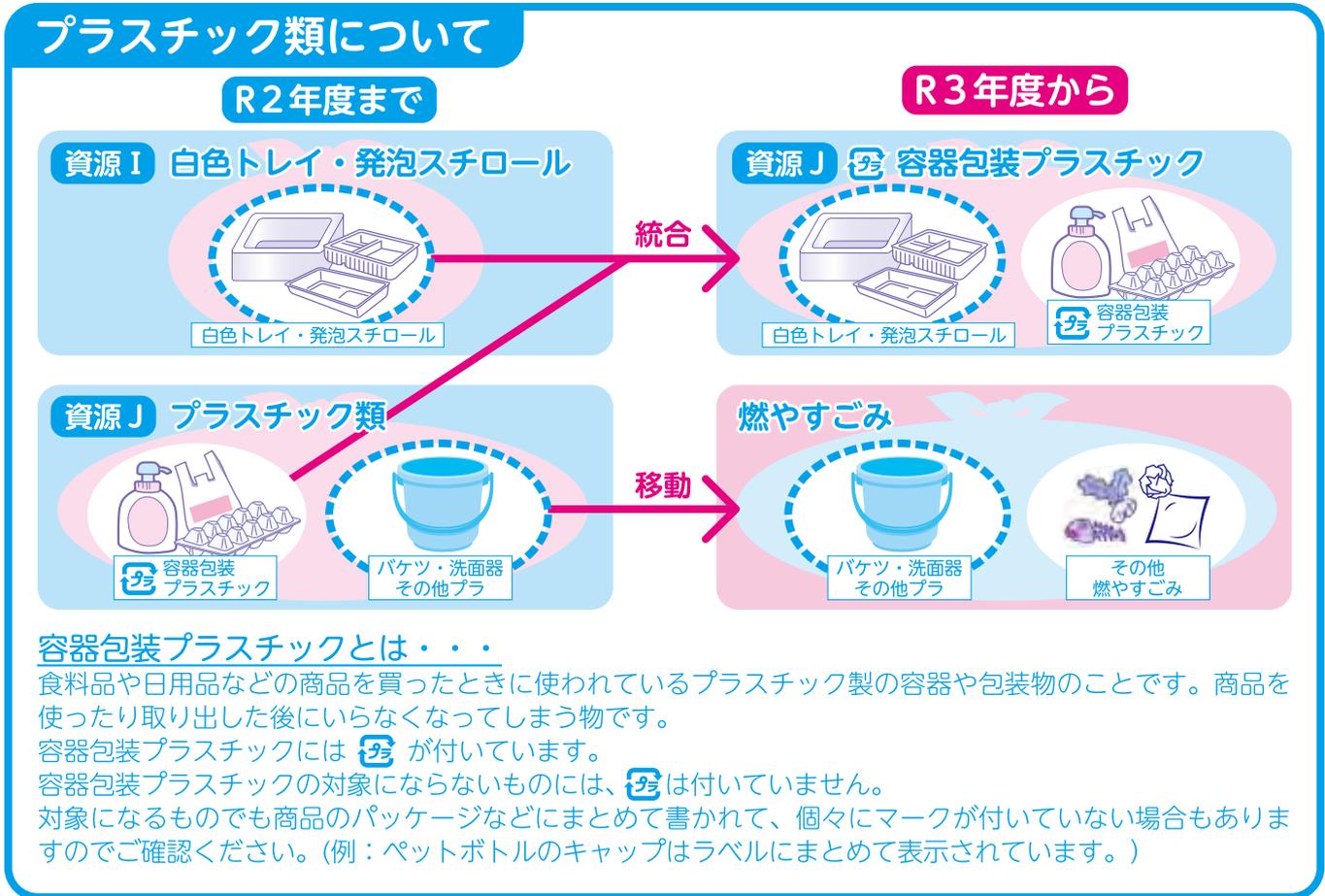


ごみの分別方法が変わりました (令和3年4月1日～)

新ごみ処理施設（菊池環境工場クリーンの森合志）での発電（サーマルリサイクル）開始に対応するとともに、より分かりやすい「ごみ区分」とするため、次のとおり変更しました。

(主な分別イメージ図)

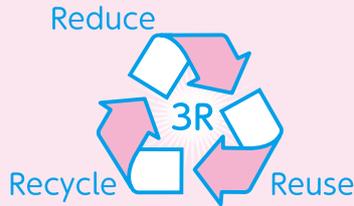


※「特定品目」電池類・リチウムイオン電池、電池類が取り外せない充電式小型家電製品、スプレー缶(塗料以外)・カセットボンベ、ライター・チャッカマン、水銀体温計等は、不燃物の日に透明な袋に入れて出してください。・・・P11参照

私たちにできる「3Rでごみ減量！」

3Rってなに？

Reduce (リデュース：減らす)
Reuse (リユース：繰り返し使う)
Recycle (リサイクル：再資源化する)
への取り組みを
意識しましょう。



POINT
1

食材は 買いすぎない

買い物に行く時は、
メモを活用し、必要
なものだけ買うよう
にしましょう。



POINT
2

作りすぎない 食べ残さない

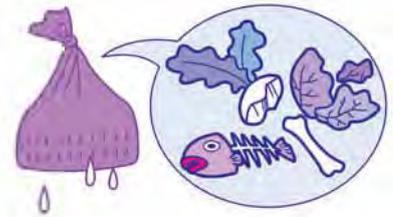
食材や作ってくれた人に
感謝し、食べ切ろう！
また、どうしても残った
おかずは冷凍に。



POINT
3

生ごみはギュッと ひとしぼり

生ごみの約8割は水分です。
乾いた生ごみは濡らさない
ように心がけ、
ごみに出す
前に絞りま
しょう。



POINT
4

生ごみを 堆肥にする

生ごみは堆肥化させるこ
とができます。
ライフスタイルに合った
方法を探してみましょ
う。また、自家処理容器等
の購入補助を行っています。



POINT
5

マイバッグ・マイボトル を持参しよう

買い物の際はマイバッ
グを持参し、レジ袋は
断るように。
飲み物はマイボトルを
利用するように心がけ
ましょう。



POINT
6

紙類も正しく リサイクル

新聞や雑誌、チラシ
などの他にも封筒や
はがきなども
リサイクルできます。



POINT
7

資源物は「ごみ」 ではありません

資源物を正しくリサイクルすることで新しい製品
や原料として生まれ変わります。
きちんと分別し、
貴重な資源として
活かしましょう。



守ってください!! ごみ出しのマナー

1

きちんと分別する



他のごみと混ぜて
出さないように
しましょう。

2

決められた場所や
曜日を守る



決まりを守らない人がいると、
近隣の人に迷惑がかかります。
決まりを守って出しましょう。

3

ごみは収集日当日
朝8時30分までに出す



収集日の前日の夜などに出すと、
放火されたりカラスやネコに散らかされたりします。
必ず、収集日当日の朝8時30分
までにしましょう。

4

危険な物は
包んで出そう



ガラスや陶器の割れたもの、
カッターやカミソリの刃、はさみ、
包丁、串などは、必ず新聞紙
などで包んで出しましょう。

5

生ごみは
ひとしぼり
して水分を
カット



生ごみに含まれる水分は、収集
する時に重くて負担がかかるだ
けでなく、燃焼効率が悪くなり
ます。ごみ袋に入れる前に、ひと
しぼりして余分な水分を切っ
ておきましょう。

6

スプレー缶は、
中身を空
にしてから
出す



キャップを
ノズルに
押し込む

スプレー缶は、ごみとして出す
前に、商品に記載されている説
明をご覧ください、必ず中の気
体を抜いてから出しましょう。
収集車の火災の原因になります。

7

電池類、リチウムイオン電池、電池類が
取り外せない充電式小型家電製品・
水銀体温計・水銀式血圧計・ライター・
チャッカマン・スプレー缶・練り朱肉は
特定品目です。



特定品目はそれぞれ別の透明の袋に入
れて出してください。特に水銀体温計・
水銀血圧計は割れないように新聞紙な
どに包むか、ケースに入れたまま出
してください。

8

資源になる金属製の
箱や缶、びんの中身は
全部取り除いて
ください。



分け
れば

資源



まぜ
れば

ごみ

